

「平尾祭①～開会・個人パフォーマンス編～」



平尾祭ステージ看板制作：美術部・一、二年文化委員
看板原案：Kさん(10)・Hさん(2D) 看板文字：Yさん(3D)

1日目・個人パフォーマンス

Hさん(2D)
「どんときも。」



Aさん(3C)
「66号線」
「宝石になった日」

Mさん(3B)
「推しごと」



盛り上がる観客

「文化委員長として全力で取り組んだ平尾祭」

3年D組 辻 日和

高校生活最後の文化祭。三年生ということもあり全ての行事に最後という言葉がつき、寂しくもありましたが、全力で取り組むことができました。文化委員長として初めての司会にも挑戦しましたが、台本をもとに事前に打ち合わせや確認をしていきましたが、ハプニングはつきもので急遽アドリブを加えるなどしてよい経験になりました。

私のクラスはたこ焼きの模擬店でした。開店前、鉄板で焼くとすぐに焦げてしまいたこが回せなくなることが発覚して大焦りでしたが、最終的には焼きのプロになっていました。知り合いが来てくれたりシークレットの注文が入ったりすると、ラーメン屋のように声を張り上げてお出迎えする様子がとても文化祭らしくて盛り上がりしました。

三回目の文化祭でしたが、軽音楽部のステージで初めてソロで歌うこともできよい経験と思い出ができました。

ようやく朝夕が秋めいてきた10月17日(金)・18日(土)、「百花繚乱」をテーマに平尾祭2025を開催しました。平尾祭を開催するにあたり生徒会長井本小鈴さんが、「今年のテーマは、『百花繚乱～色とりどりの花を咲かせよう～』です。このテーマには『一人ひとりの色とりどりの個性や力を出し合い。思い出に残るような楽しい文化祭にしよう』という思いを込めています。」と語ってくれました。平尾祭当日の様子を、生徒の皆さんの作文と写真で連載します。お楽しみください。

開会式総司会



「百花繚乱・文化委員長として」 3年D組 湯原 凜香

「百花繚乱」というテーマのもと平尾祭の準備が始まりました。私は高校生活最後の大きな行事の体育祭では副団長、今回の平尾祭では文化委員長としてステージ発表の司会を務めることになりました。人前に立つことは何度もありましたが、毎回予想外の事が起きないかなどと考え、楽しみより不安が大きくとても緊張しました。

平尾祭当日を迎え、ステージ発表では出演者が個性豊かで観客も盛り上がり、司会も徐々に慣れてきました。初日の夜には模擬店が行われ、夜の学校もとてもにぎやかに過ごしました。

二日目は模擬店から始まり、私のクラスは朝からたこ焼きの準備を始めました。開店してから私のクラスはとても明るくにぎやかで、目の前にあったたこ焼きが一瞬で減っていききました。模擬店が終わり最後のステージ発表が始まりました。終わりに近づき、私が所属しているよさこい・ソーラン部の演舞披露の番が迫ってきました。何があっても乗り越えてきた仲間との舞台が、今日で終わってしまうのがとても寂しく感じました。3曲披露し終え、響き渡る盛大な拍手。フィナーレが始まり文化委員長としての最後の挨拶を行い平尾祭が終わりました。

最後の文化祭でもたくさんの思い出ができ、とても良い経験もできました。皆さん、二日間、平尾祭を楽しんでくださりありがとうございました。



Hさん(3A)・Mさん(3B)
「ダンスメドレー」

Nさん(1C)「蕾」



Uさん(1A)
「リメンバリー」



個人パフォーマンス
総司会の様子



「私にとって一番の平尾祭」 3年D組 芳賀 陸矢
私は今年初めて文化委員になり、とても多くのいい経験ができました。看板作りでは、クラスが一つになってそれぞれの作業を一生懸命に行い、とてもスムーズに作業を進めることができました。皆で力を合わせることで「こんなにもいい看板ができるのか。」とチームワークの大切さを再認識できるよい機会でした。
今回、私はビンゴ大会の司会も任せてもらい、リハーサルをした時は上手く進行できるのか、みんなに楽しんでもらえるのかなど、色々な不安がありました。ですがいざ本番を迎えると、みんな盛り上がってくれてすぐに緊張が解け、楽しく終わることができました。文化祭が終わった後、友だちから「とってもいい司会だった。」「司会に向いていると思う。」などと言ってもらい自信をつけることもできました。
今年の文化祭は、私にとって間違いなく一番の文化祭になりました。

「最初で最後の文化祭」 3年C組 河野 愛花
私にとって今年の平尾祭は高校生になって初めての文化祭だったので、前からとても楽しみでした。看板作りでは、文字を切り取って黒色にするのが大変だったけれど頑張りました。その後完成した看板を見て、とてもインパクトがあって恰好良いと感じました。平尾祭の模擬店では食べ物を楽しみで、朝からワクワクしていました。
一日目はクレープ2個とワッフル、焼きそば、肉まん、ポテト2個とたくさん食べることができて満足しました。二日目は自分たちの模擬店があり、朝早くから皆で材料を煮込んだり、看板を設置したりしました。カレーの模擬店が開始すると、思っていたよりもたくさんのお客さんが来てくれて、私たちも急いでカレーを作りました。友だちが「カレーが美味しくて二つ買ったよ。」と言ってくれて、本当に嬉しかったです。私は来てくださったお客さんに対して、「いらっしやいませ。」「ありがとうございます。」ということと心をかけて接客を頑張りました。
個人パフォーマンスでは、友だちがダンスを披露して、緊張しているのに動きが堂々としていてすごいなと思いました。私にとって高校生活最初で最後の文化祭が、この平尾祭で良かったと思える最高の文化祭でした。

模擬店紹介・3C「カレー」



「良い思い出が出来た平尾祭」 3年C組 高木 凜太
三年生最後の文化祭を通して感じたことは、年を重ねるごとに学校行事へのワクワク感が少しずつ減っていると感じたことです。具体的に言うと、気がつけば文化祭当日だったこと、あと何日後に文化祭があるかなどを考えなくなったことが、子どもの頃から少し大人になったと考えると寂しい気持ちになります。
しかし、いざ本番になると楽しみな気持ちが出てきて盛り上がってきました。模擬店の中でも特に好きだったのがクレープと肉巻きおにぎり棒です。カレーも凄くおいしかったけど、3時間くらい続けて作っていたので、正直見るだけでお腹いっぱいになりました。準備中も作っている時も分からないことがたくさんあったけど、結局は楽しかったしこれで最後と思うと寂しくなりました。しかし良い思い出が出来て嬉しかったです。

「二日間楽しめた最後の平尾祭」 3年C組 中村 玲菜
高校最後の平尾祭では、クラスでカレーを作りました。前日にクラスの皆が集まって野菜を切り、当日には朝早くから煮込んでとても忙しかったです。だけどクラスの皆で一丸となりカレーを作ったおかげで、色々な方に食べてもらえることができたのは本当にうれしかったです。
模擬店以外にもステージでのパフォーマンスが盛り上がり、すごかったのを今でも覚えています。三年生にとって最後の平尾祭で素敵な思い出を作るために準備してきたのが伝わるくらい気合いが入っていました。平尾祭は二日間とも楽しめることができ、悔いのない平尾祭になり良かったと思います。



2日目・3C「カレー」